

# 記入例

## 家庭科における新学習指導要領等に関するエビデンスについて

学校種	小・ <b>中</b> ・高・大・その他	領域・分野	家族・家庭生活 高齢者福祉	食生活 <b>保育</b>	衣生活 消費生活・環境	住生活 その他																																			
論文名・題材名等	自己肯定感を育成する幼児とのふれ合い体験学習																																								
執筆者・実践者等 氏名・所属名	岩瀬玲奈（静岡県御殿場市立富士岡幼稚園）・志村結美（山梨大学）																																								
掲載・発表学会誌・報告書・雑誌・書籍等	日本家庭科教育学会 2011 年度例会研究発表要旨集	巻・号/ 出版社他 (Op-Op)	p. 14-15	掲載・実践年月日 /出版年	2011 年 11 月																																				
キーワード	幼児とのふれ合い体験学習, 自己肯定感, 複数回実習, 中学生, 幼稚園教諭, 保護者																																								
内容の概要  目的・方法等を簡潔に述べて下さい。	<p>■目的</p> <p>1.中学生の幼児とのふれ合い体験学習に関する認識の変容を明らかにし、ふれ合い体験学習の意義を明らかにするとともに、自己肯定感を育成する視点から分析・検討する。</p> <p>2.受け入れ施設である幼稚園の教諭や幼児の保護者対象の調査を実施し、課題を明らかにし、互恵性のあるふれ合い体験学習のあり方を探る。</p> <p>■方法</p> <p>1.中学生(山梨県内国立・公立中学校 2 校 195 名)対象に、3 回のふれ合い体験学習(2009 年 5 月～2010 年 1 月実施)の前後に調査を実施し、分析・検討した。</p> <p>1 回目:幼稚園での幼児の観察 2 回目:ふれ合い交流会(中学校でのおやつ作り) 3 回目:幼稚園訪問(手作りおもちゃを使ったふれ合い体験)</p> <p>2.幼稚園(山梨県内国立大学附属幼稚園)教諭 6 名、ふれ合い交流会(中学校でのおやつ作り)に参加した幼児の保護者 15 名を対象に調査を実施、分析・検討した。</p>																																								
明らかとなった 成果や結果  数値等を具体的に提示しながら、箇条書きやグラフ、表等で簡潔にわかりやすく記述して下さい。	<p>1.複数回のふれ合い体験学習が効果的であり、特に男子に対して有効である。</p> <p>表 ふれ合い体験学習による認識の変容 *<math>p &lt; .05</math>**<math>p &lt; .01</math></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1. 観察前</th> <th>2. 観察後</th> <th>3. 交流前</th> <th>4. 交流後</th> <th>5. 訪問前</th> <th>6. 訪問後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分かる・知っている</td> <td></td> <td></td> <td>2.80</td> <td>2.96</td> <td>2.95</td> <td>3.23</td> </tr> <tr> <td>楽しい</td> <td>2.94</td> <td>3.20</td> <td>3.12</td> <td>3.27</td> <td>3.33</td> <td>3.39</td> </tr> <tr> <td>自分が成長する</td> <td>2.92</td> <td>3.23</td> <td>3.09</td> <td>3.32</td> <td>3.37</td> <td>3.44</td> </tr> <tr> <td>自分の役に立つ</td> <td>3.06</td> <td>3.17</td> <td>3.07</td> <td>3.35</td> <td>3.43</td> <td>3.47</td> </tr> </tbody> </table> <p>「幼児を分かる・知っている」、「幼児とふれ合うのが嬉しい」、幼児とのふれ合いは「自分が成長する」(4 尺度)等、多くの項目で、回数を重ねるごとに平均値が上昇しており、複数回の体験学習の効果が認められた。また、複数回、体験学習を行うことで、男女の認識の差が減少し、男子の認識の向上が顕著に認められた。</p> <p>2.自己肯定感に関しては、有意な変容は認められないが、影響は推察される。</p> <p>平均値は上昇しているが、有意な変容までは至っていない結果であったが、ふれ合い体験で自分が成長すると感じている等、自己肯定感への影響が推察された。</p> <p>3.ふれ合い体験学習は、中学生、幼児、幼稚園教諭、保護者にとって意義あるものとなり得る。</p> <p>幼稚園教諭からは幼児の新たな面を発見することができた等、幼児や教諭自身への肯定的な影響が示唆された。また、保護者からは、幼児の成長を実感し、中学生の態度から、自分自身の保育態度を見直している様子等が見受けられ、保護者にとっての意義も明らかとなった。</p>							1. 観察前	2. 観察後	3. 交流前	4. 交流後	5. 訪問前	6. 訪問後	分かる・知っている			2.80	2.96	2.95	3.23	楽しい	2.94	3.20	3.12	3.27	3.33	3.39	自分が成長する	2.92	3.23	3.09	3.32	3.37	3.44	自分の役に立つ	3.06	3.17	3.07	3.35	3.43	3.47
	1. 観察前	2. 観察後	3. 交流前	4. 交流後	5. 訪問前	6. 訪問後																																			
分かる・知っている			2.80	2.96	2.95	3.23																																			
楽しい	2.94	3.20	3.12	3.27	3.33	3.39																																			
自分が成長する	2.92	3.23	3.09	3.32	3.37	3.44																																			
自分の役に立つ	3.06	3.17	3.07	3.35	3.43	3.47																																			